

3. 組成、成分情報

含有成分	CAS No.	含有率
水	7732-18-5	90%
非イオン界面活性剤	29781-81-5	非公開
陰イオン界面活性剤	9004-82-4	0.8%
メタ珪酸ソーダ	1344-09-8	非公開
イソプロピルアルコール	67-63-0	2.1%

4. 応急措置

- [吸入した場合] 空気の新鮮な場所に移し、安静にさせ、速やかに医師の手当てを受ける。
 [皮膚に付着した場合] 流水/シャワーと石鹸でよく洗い、皮膚刺激が生じた場合は医師の手当てを受ける。
 [目に入った場合] 水で数分間洗い、コンタクトレンズを着用している場合は可能ならば外して洗浄を続け、刺激が続く場合は医師の手当てを受ける。
 [飲み込んだ場合] 無理に吐かせずに口をすすがせ、直ちに医師の手当てを受けさせる。

5. 火災時の措置

- [消火剤] 霧状水、粉末、泡、炭酸ガス、乾燥砂、等適宜
 [消化方法] 不燃性。周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。

6. 露出時の措置

- [人体に対する注意事項] 作業には必ず保護具を着用する。十分な換気若しくは通気性の良い所で作業する。
 [環境に対する注意事項] 環境への放出を避ける。
 [除去方法] 可能な限り、ウエス等で吸着させたりして回収、必要があれば希釈して回収し、大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 【取扱い】**
 [技術的対策] ・吸入、皮膚への接触を避け、目に入らないように適切な保護具を着用する。
 ・取扱いは、換気の良い場所で行う。
 ・取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼等の設備を設ける。
 [注意事項] ・換気の良い場所で取り扱う。
 ・皮膚及び眼への接触を避ける。
 [安全取扱注意事項] ・取扱い後は、よく手洗い等を行う。
 ・適切な保護具を着用する。
【保管】
 [適切な保管条件] ・容器を密閉して、換気の良い場所で保管する。
 ・直射日光を避け、火気や熱源から遠ざけ、また凍結させない状態で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 【設備対策】** ・取扱い場所には、適切な換気装置を使用する。
 ・近くに手洗い、洗眼等の設備を設ける。
【管理濃度】 ・未設定
【許容濃度】 ・未設定
【保護具】
 [呼吸器の保護具] 呼吸保護具
 [手の保護具] 保護手袋
 [目の保護具] 保護眼鏡
 [皮膚及び身体の保護具] 保護服
【衛生対策】
 ・取扱後は、汚染品の一切をよく洗う。
 ・取扱中に飲食又は喫煙をしないこと。
 ・汚染された衣類は脱ぎ、洗濯をしてから再使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的性状	[液体]	比重	[1.0]
色	[無色]	蒸気圧	[水と同じ]
臭い	[刺激臭]	蒸気密度	[水と同じ]
pH	[pH13±0.5]	蒸発率	[約1.0]
沸点	[100°C]	水溶性	[完全水溶]
引火点	[11.7°C (密閉式) イソプロピルアルコール]		

* 製品の引火点データなし。推奨使用及び保管環境下において引火なし。

10. 安定性及び反応性

予期される通常の保管及び取扱いの条件において安定。酸性物質と激しく反応して発熱する。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	[区分 4]	特定標的臓器・全身毒性 （単回暴露）	[区分 3]
皮膚腐食性・刺激性	[区分 2]	特定標的臓器・全身毒性 （反復暴露）	[分類できない]
目に対する重篤な損傷/目刺激性	[区分 2A]		

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	[区分に該当しない]
水生環境慢性有害性	[区分に該当しない]

13. 廃棄上の注意

排水処理基準を遵守して、pHに注意しながら、廃棄する。

14. 輸送上の注意

【国際規制】 該当しない
【注意事項】 容器漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15. 適用法令

【化管法】	指定化学物質：ポリ（オキシエチレン）＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム
【労働安全衛生法】	第57条の2通知対象物：イソプロピルアルコール
【毒物及び劇物取締法】	該当しない
【消防法】	該当しない
【PRTR 法】	指定化学物質（ポリドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム, 政令番号1-409）

16. その他の情報

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報に基づいて作成しており、安全な取扱いを確保するための参考情報となり、いかなる保証をするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂される場合があります。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには充分注意して下さい。本安全データシートは通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な扱いの場合には十分な安全対策を実施の上で使用下さい。全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには充分注意し、使用責任者の責任にて適正に取り扱い下さい。